



特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の歳入で特定の事業を行うための会計。一般会計と区別して経理しています。

10の特別会計を設置

旧4市町それぞれで設置していた特別会計の決算も、同議会にて認定されました(表)。

また、新市においても、合併前の事業を円滑に進めるため、旧4市町に設置されていた特別会計を整理統合して、新市に引き継ぎました(表)。

新市の各特別会計の決算内容は次のとおりです。

国民健康保険

加入者が納める国保税や国および県からの交付金などを財源として医療の給付や各種保健事業などを実施しました。平成18年1月から3月までの歳出総額は28億5523万円となりました。このうち総額の大半を占める保険給付費は、19億8598万円。合併後は、被保険者が3万8284人、加入世帯は1万

8820世帯となりました。

老人保健

75歳以上の高齢者などの医療を確保するための事業です。合併後の老人医療対象者は、1万5577人となりました。歳出の大半を占める給付額は32億543万円。対象者1人当たりの給付額は20万5780円となります。

介護保険

介護保険料や国・県・市の負担金などを財源として、介護サービスなどを実施しました。合併後の要介護等認定者数は4943人となりました。このうち、79.5%に当たる3928人が介護サービスを利用しました。

簡易水道事業

東和地域への給水を、利用者からの使用料、国の補助金や一般会計からの繰入金などを財源として実施しています。平成17年度は田瀬地区の配水池整備と配水管3774mを布設しました。

石鳥谷東中部管農飲雑用水施設事業

石鳥谷地域の東中部への給水を、水道使用料などを財源として実施している事業です。平成17年度は八重畑地区の農業集落排水事業に関連して、水道管を移設しました。

国民健康保険直営診療施設勘定事業

診療収入や一般会計からの繰入金などを財源として、石鳥谷医療センターを運営しています。診療状況は、入院患者が延べ1006人、外来患者が延べ3529人となりました。

老人保健施設事業

東和地域の老人保健施設「華の苑」を、介護給付費収入や施設利用者からの使用料などで運営しています。平成17年度は、病気の後遺症などにより、リハビリテーションを必要とする方に快適なサービスを提供するため、通所リハビリテーション施設を整備しました。

公設地方卸売市場事業

売上高使用料や施設使用料、一般会計からの繰入金などを財源として運営しています。平成17年度は、青果部の保冷庫を整備しました。

下水道事業

受益者負担金、使用料、国の補助金や一般会計からの繰入金などで事業を実施しています。旧4市町の事業を引き継ぎ、平成17年度は、花巻地域では松園地区や高木地区などを、大迫地域では外川目下中居地区を、石鳥谷地域では八幡地区や中寺林地区などを、東和地域では前郷地区や根岸地区などを整備しました。

[表] 平成17年度 特別会計決算の総括表

区分	歳入	歳出	差引残高
国民健康保険	32億118万円	28億5,523万円	3億4,595万円
老人保健	32億6,574万円	32億3,373万円	3,201万円
介護保険	22億1,767万円	20億6,800万円	1億4,967万円
簡易水道事業	2億7,550万円	2億6,320万円	1,230万円
石鳥谷東中部管農飲雑用水施設事業	1,234万円	937万円	297万円
国民健康保険直営診療施設勘定事業	1億1,556万円	1億506万円	1,050万円
老人保健施設事業	2億748万円	1億9,611万円	1,137万円
公設地方卸売市場事業	3,060万円	2,960万円	100万円
下水道事業	33億3,484万円	33億1,506万円	1,978万円
農業集落排水等汚水処理事業	21億9,011万円	21億7,081万円	1,930万円
合計	148億5,102万円	142億4,617万円	6億485万円

※上記は平成18年1月から3月までの決算内容です

旧花巻市

区分	収支	決算額	内容
収益的収支	収入	11億9,288万円	水道料金など
	支出	10億6,023万円	維持管理費など
資本的収支	収入	0万円	
	支出	2億9,235万円	工事費など

旧大迫町

区分	収支	決算額	内容
収益的収支	収入	1億2,492万円	水道料金など
	支出	1億3,554万円	維持管理費など
資本的収支	収入	103万円	補償金など
	支出	4,493万円	工事費など

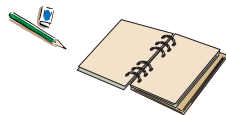
旧石鳥谷町

区分	収支	決算額	内容
収益的収支	収入	2億3,355万円	水道料金など
	支出	2億2,623万円	維持管理費など
資本的収支	収入	1,051万円	出資金など
	支出	6,254万円	工事費など

※旧東和町は、簡易水道事業特別会計で給水事業を行っているため、企業会計はありません。旧花巻市、旧大迫町、旧石鳥谷町の決算内容は平成17年4月から12月までのものです

農業集落排水等汚水処理事業

農村地域のし尿や生活雑排水を浄化し、農業生産性の向上や、水辺環境の保持など豊かな住環境づくりに目指している事業です。旧4市町の事業を引き継ぎ、平成17年度は、花巻地域では湯口中部地区と西南地区を、石鳥谷地域では大北地区、八幡・八日市地区、八重畑地区を整備し、湯口中部地区と大北地区は事業完了となりました。また、各地域において家庭用浄化槽の設置を行いました。



企業会計

水道事業所

水道事業は、独立採算制へ独立した会計を持ち、経営に必要な経費を自らの収入でまかなうことです。会計は、次の2つに分かれています。

収益的収支
水道料金を主な財源として、施設の維持管理や借入金の利息の支払いなどに使われます。

資本的収支
企業債施設整備に使う借入金などを主な財源とし、施設の整備や更新、借入金の元金の返済などに使われます。

花巻市

区分	収支	決算額	内容
収益的収支	収入	5億475万円	水道料金など
	支出	5億6,466万円	維持管理費など
資本的収支	収入	5億1,726万円	企業債など
	支出	6億5,166万円	工事費など

※上記は平成18年1月から3月までの決算内容です

[表] 平成17年度 特別会計決算の総括表(平成17年4月~12月までの決算)

旧花巻市

区分	歳入	歳出	差引残高
国民健康保険	40億808万円	39億8,521万円	2,287万円
老人保健	46億8,448万円	45億9,179万円	9,269万円
介護保険	27億7,850万円	26億4,824万円	1億3,026万円
公設地方卸売市場事業	5,732万円	5,554万円	178万円
下水道事業	18億404万円	22億5,198万円	4億4,794万円
農業集落排水事業	5億9,903万円	9億311万円	3億408万円
合計	139億3,145万円	144億3,587万円	5億442万円

※赤字分については、一時借入金で補てんしています

旧石鳥谷町

区分	歳入	歳出	差引残高
国民健康保険	9億4,809万円	10億3,848万円	9,039万円
国民健康保険直営診療施設勘定	2億2,897万円	2億2,433万円	464万円
老人保健	12億4,207万円	12億311万円	4,176万円
介護保険	7億1,240万円	7億449万円	791万円
石鳥谷東中部管農飲雑用水施設	3,026万円	2,625万円	401万円
下水道事業	1億6,756万円	2億5,383万円	8,627万円
農業集落排水事業	2億2,169万円	3億272万円	8,103万円
合計	35億5,104万円	37億5,041万円	1億9,937万円

※赤字分については、一般会計の剰余金により一時的に補てんしています

旧大迫町

区分	歳入	歳出	差引残高
国民健康保険	4億2,086万円	4億2,804万円	718万円
老人保健	5億571万円	5億253万円	318万円
介護保険	3億6,652万円	3億6,624万円	28万円
下水道事業	2億2,864万円	1億9,194万円	3,670万円
外川目財産区	106万円	106万円	0万円
合計	15億2,279万円	14億8,981万円	3,298万円

※赤字分については、一般会計の剰余金により一時的に補てんしています

旧東和町

区分	歳入	歳出	差引残高
国民健康保険	6億390万円	6億6,236万円	5,846万円
老人保健	9億3,775万円	8億9,138万円	4,637万円
介護保険	5億9,305万円	5億7,952万円	1,353万円
簡易水道事業	2億8,795万円	2億1,015万円	7,780万円
町営バス事業	7,034万円	1億5,459万円	8,425万円
老人保健施設	2億3,509万円	2億5,699万円	2,190万円
墓園事業	593万円	305万円	288万円
下水道事業	2億4,455万円	2億7,138万円	2,683万円
農業集落排水事業	3,162万円	2,292万円	870万円
合計	30億1,018万円	30億5,234万円	4,216万円

※赤字分については、一般会計の剰余金により一時的に補てんしています